

2026年1月6日  
日本调剂株式会社

## ～日本调剂×SDGs ラジオ～ 未来を担う子どもたちへ！「薬剤師の仕事体験」出張授業を実施

全国47都道府県で調剤薬局を展開する日本调剂株式会社(本社所在地:東京都港区芝、代表取締役社長:小城 和紀、以下「日本调剂」)は、株式会社ケシオンが運営する全国の児童・生徒・学生を対象にした教育コンテンツ『SDGs ラジオ』との連携企画として、未来の担い手である子どもたちに向けた、薬剤師の仕事や薬局の役割を伝える出張授業を実施しました。『SDGs ラジオ』で当社が展開している10種のコンテンツでは、人々の健康を支えるヘルスケアグループとして、薬を正しく使うことの重要性や自身の健康管理の大切さについてわかりやすく伝えています。

### ●品川区立城南第二小学校(2025年11月20日実施)

東京都品川区が推奨するキャリア教育プログラム「しながわドリームジョブ」の一環として、小学6年生78名を対象に授業を行い、学校付近にある日本调剂 戸越公園薬局の薬剤師が講師を務めました。授業では、薬剤師の仕事や薬局の社会的役割について、クイズを交えながら楽しく学習しました。「薬剤師ってどんな仕事だと思う?」という問い合わせには、「薬の飲み方を教える!」「体調が悪い人を助ける!」など、積極的な意見が飛び交い、子どもたちの関心の高さが伺えました。



### ●横浜市立宮田中学校(2025年11月27日実施)

神奈川県にある横浜市立宮田中学校から4名の中学生2年生を迎えて、職業体験プログラムを行いました。

#### ～薬剤師になるには？授業で学ぶ&学生から未来のサービスを提案！～

日本调剂の本社で薬局薬剤師の役割や日本调剂の事業について講義を実施。当社の『SDGs ラジオ』を聴いて薬剤師という職業に興味を持ったという学生もあり、薬剤師になるための具体的なステップについても紹介しました。また、『SDGs ラジオ』で得た知見をもとに、学生が日本调剂の新しいサービスを考え、提案するなど、当社の強みや現代の学生が求めるヘルスケアサービスについて活発な意見交換を行いました。



#### ～薬局でリアルな薬剤師を体験！～

続いて、宮田中学校近くの日本调剂 星川薬局に移動し、見学会を行いました。学生は日本调剂のユニフォームを着用して待合室や普段は入ることのできない調剤室などを見学し、薬局の仕組みを実際の目で見て理解を深めました。さらに、お菓子を用いた一包化体験も実施し、複数の薬を飲み忘れたり間違えたりしないように1回分ずつにまとめる作業を通じて、薬剤師の仕事に求められる正確さと患者さまへの配慮をリアルに体験しました。



日本调剂はヘルスケアグループとして今後も、次世代を担う子どもたちの学びを支援するとともに、健康に関する情報提供・啓発活動に積極的に取り組んでまいります。

## ■本取り組みが該当する日本調剤グループのマテリアリティ

(重要課題グループ)	(マテリアリティ)
【A】医療のクオリティとアクセシビリティ	1. 薬局機能の強化(高度医療や地域医療への対応)による 2. 患者さまの薬物治療効果の向上 3. 未病・予防など地域の健康をサポートする薬局機能の拡張 4. 薬局における医薬品使用の適正化による社会保障への貢献 5. 地域の医療・福祉インフラとしての薬局の持続的な運営、災害・パンデミック等への対応 6. 薬局における医療安全の確保 7. DXによるオンライン医療推進と新規ビジネス創出 8. 医療発展に貢献する調査・研究発表
【B】医薬品の品質と安定供給	9. 高品質で安全性の高い医薬品の研究開発・製造 10. 医薬品の安定供給
【C】医療機関の人的課題の解消	11. 良質な医療サービスの提供に向けた人的側面からの支援 12. 産業医紹介によるメンタルヘルスを含む健康と労働衛生の支援
【D】カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへの寄与	13. 薬局と工場をはじめとした廃棄物の削減と資源利用の効率化 14. エネルギー利用の効率化と再生可能エネルギー利用によるCO <sub>2</sub> 削減 15. 環境・社会配慮と透明性に優れたサプライチェーンの構築
【E】多様な人材の育成と活躍	16. 会社の成長を支える人材の確保と、従業員の成長を促す人事制度の整備 17. 従業員の健康と働きがいを増進する職場環境の確立
【F】社会的責任を果たすためのガバナンス強化	18. 人権尊重と女性活躍・ダイバーシティの推進 19. 難病や障害などの医療福祉領域への支援 20. 高い情報開示 21. コンプライアンスの持続的な強化と腐敗防止 22. リスクの適正な評価と対応による機会創出

日本調剤グループは公正で透明性の高い経営基盤の構築を目指し、また、事業活動を通じた医療・ヘルスケア分野における社会課題の解決に取り組むために、マテリアリティを特定しています。日本調剤グループのサステナビリティの取り組みはこちらをご覧ください。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/>

【日本調剤グループについて】 <https://www.nicho.co.jp/brand/>

日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という搖るぎない使命のもと、調剤薬局事業を中心核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

【日本調剤株式会社について】 <https://www.nicho.co.jp/>

1980 年の創業以来、一貫して国の健康保険制度を支える調剤薬局のあるべき機能・役割を全うす

べく「医薬分業」を追求し、調剤薬局展開を積極的に行ってています。現在では、全都道府県に調剤薬局を展開し約 4,000 名の薬剤師を有する、日本を代表する調剤薬局企業として評価を得ています。また、ジェネリック医薬品の普及や在宅医療への取り組みだけでなく、早くから ICT 投資を積極的に進めており、超高齢社会に必要とされる良質で革新的な医療サービスの提供を行ってまいります。

**【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】**

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3457-3152

E-Mail:[pr-info@nicho.co.jp](mailto:pr-info@nicho.co.jp)